

# あなたの住んでいるところは

## 安全ですか？

### ケン

雨に気づくばり 大地に目くばり

梅雨により降雨量の最も多い季節になり、梅雨前線の活動によつては局地的に降雨量が多くなります。

毎年この季節になると、新聞・テレビ等で土砂災害の恐ろしさを被害地から伝えられております。

降雨量が非常に多くなったとき、次のことに心掛け、土砂災害から身を守る習慣をつけておきましょう。

一、わが家の危険度を確認  
土砂災害から身を守るため



土砂流れと直角に

逃げよう!!

には、まず自分の家のまわり

に危険がないかを確かめることが必要です。国や県があらかじめ調査をし、危険な地区にはそれを知らせる標識を立てるようになっていますが、それ以外にも危険なところはあ

るかも知れません。わが家のまわりをよく調べ、危険のあるなしを確認しておきましょう。

二、大雨の時は要注意

場所によって違います。降雨量が一時間に二十ミリ以上、または降り始めてから百ミリを越えたら要注意。とにかく、ふだんから気象情報に注意し、あふないと思ったら、早めに逃げましょう。

三、避難場所を決めておく  
ふだんから避難場所、避難経路を決めておきましょう。

いざ災害が起きた時に、家族全員が家にそろっているとは限りません。その時にふだんから避難場所を決めておけば安心です。

四、緊急避難の際には

例えば土石流は、流下速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。ですから、土石流が発生した場合は、流れと直角の方向に逃げるのが鉄則です。とっさの時に判断をあやまらないためにも、緊急避難の方法をふだんから必ず、心にかけておきましょう。

## あなたは大丈夫ですか？

### 生活騒音



静かな街  
みんなの街

生活をしていく上でやむをえない音、自分には快い音も時と場合により、他人には不

## 7月 河川愛護運動

河川を正しく  
利用しましょう

日頃から河川の美化にご協力いただいているところですが、本年も七月一日から七月

三十一日まで河川愛護運動が実施されます。

河川の正しい利用として、次の点に十分ご注意、又ご協力をいただいてこの運動の目的である「河川を常に美しく正しく安全に使用し、管理する気運を高めること」のご理解をお願いいたします。

一、河川をみだりに自動車、自転車、商品、資材等の置場にしない。

二、ごみ、し尿、汚水等を河川に投棄しない。

三、河川敷を利用した場合は紙屑、空かん類のごみを各自持ち帰る。

快な「騒音」としてとらえられてしまうことがあります。

例えば、聴いている本人は楽しく快いステレオの音、懸命に弾いているピアノの音も他人にはがまんのない音になることもあります。

また、お付き合いの程度によつて感じ方も違ってきます。日頃からあいさつを交し合うなどの近所づきあい、円滑な地域コミュニケーションが大いに大切と言えるでしょう。静かなよりよい環境をつくるため、町内会や自治会などで一度話し合ってみてはいかがでしょうか。